

### 稲作経営の安定化と所得の向上

【概ね 15ha 以上の大規模稲作経営体 32 経営体】

水稲 15ha 以上の経営体 32 戸で約 1,000ha の水田を担っており、規模拡大や経費削減等に努め所得を確保してきた。しかし、米価の下落や労力不足に伴う管理作業の遅れ等経営の悪化している経営体も見られる。収量の安定、雇用の確保、法人化等により経営改善を図る必要があり、GAPの取組やスマート農業技術活用支援により省力・低コスト技術を推進し、経営の安定化に繋げる。また、いすみ市環境保全型農業連絡部会に加入し特別栽培米「いすみっこ」の栽培する農家の指導を行う。



(ドローンによるリモートセンシング) (いすみっこ栽培 乗用型水田除草機)

### なし産地の担い手の経営改善による産地の維持

【一宮・岬梨組合 岬支部 50 戸】

簡易被覆栽培を活用した早出し産地として市場等から定評を得ているが、高齢化や梨園の老木化が進展し、産地の維持に向けた取組が始まっている。いすみ市等関係機関と連携して新規参入者の確保・育成に向けた技術指導をするとともに、園地貸借システムを構築する。合わせて大苗を活用した改植、新植による生産量の確保、後継者への経営継承や個別経営体の規模拡大を支援する。また、家族外雇用やスマート農業技術の導入、農福連携により労力不足を解消する。



(梨の収穫 研修生 2 名と受入農家) (梨大苗育苗施設)

### 水田地域における園芸振興

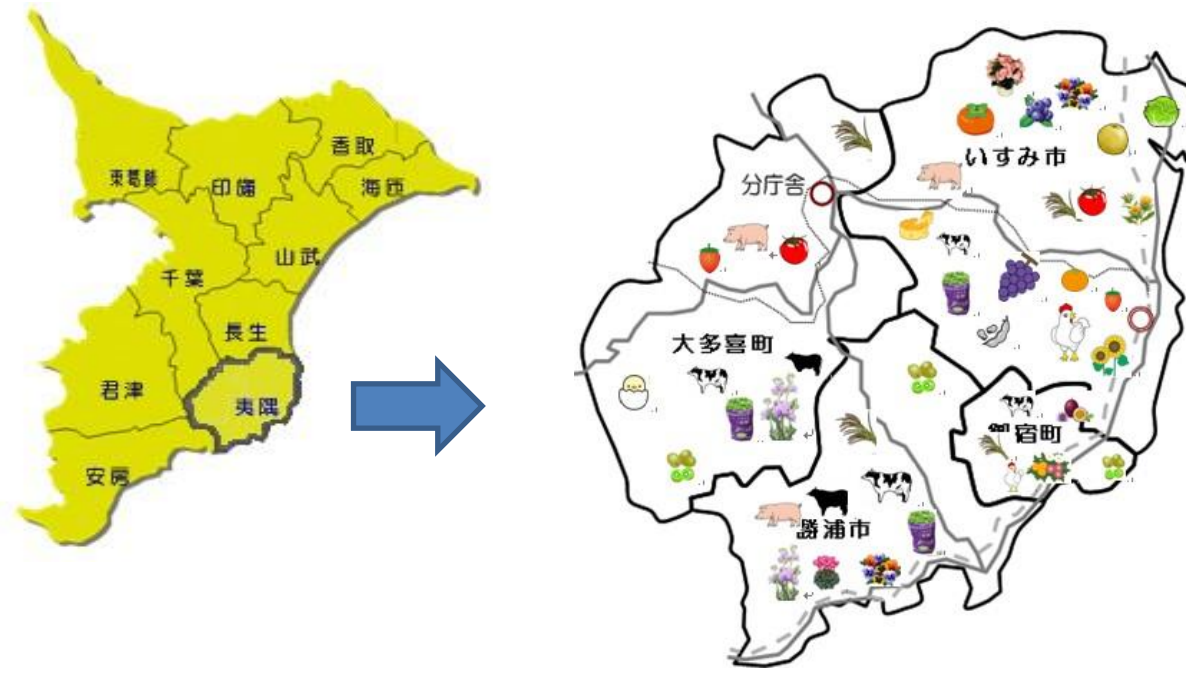
【JA いすみ青年部 17 戸、JA いすみナバナ出荷組合 52 戸 若手園芸生産者 25 戸】

夷隅地域は、排水性の悪い重粘土質の水田が多く、水田転換の園芸品目の栽培に課題がある。主要品目である食用ナバナは高齢化により出荷量が減少している。そのようななか、新たな動きとして、若手生産者を中心に、新規品目としてサトイモの栽培が始まり、共撰出荷の産地化を目指す。施設園芸ではいちご、トマト等で規模拡大、新規就農者の参入などの動きがあり、事業活用の推進と環境制御技術の習得による生産安定を目指す。



(ナバナ栽培ほ場) (環境制御技術導入によるトマト栽培)

# 豊かな資源を生かした 夷隅農業・農村の活性化



### 青年等新規就農者の育成・確保

【農業経営体育成セミナー生 11 名、認定新規就農者 45 名】

農業経営体育成セミナーを通じ、技術・経営の知識習得、仲間づくりを進め、円滑な営農定着を図り、地域農業の担い手を育成する。農業次世代人材投資事業を活用している新規就農者に対してサポートチームによる支援を行っているが、目標所得に達していない例もあることから、サポート体制や個別指導による支援の充実により技術、所得の向上につなげる。また、指導農業士等との交流の場を設け、ネットワーク化を図る。新たな動きとして、令和3年にいすみ市が農業次世代人材投資事業準備型の研修機関に認定され、経営体育成セミナーが研修の一部を担っている。



(農業経営体育成セミナー開講式) (新規就農者交流会) (セミナー基本研修：農作業安全 VR 体験)

### 多様な担い手の育成

【直売農業実践講座受講生 26 名、枝物・草花栽培講座受講生 50 名、管内女性農業者 12 名、農業との連携に取り組む社会福祉法人及び NPO 法人 2 組】

定年帰農者、I ターン、移住者等を対象に「直売農業実践講座」「枝物・草花栽培講座」、「ブルーベリー栽培講座」の開催により多様な担い手の営農を支援する。また、梨の女性後継者への技術指導やブルーベリーの加工技術向上支援により女性農業者の経営参画を図る。社会福祉法人との農福連携、NPO 法人による援農システムが始まったことから体制整備やマッチングを進める。



(パンパスグラス栽培ほ場) (大原高校実習ほ場への枝物の植栽) (NPO 法人による草刈りの援農)

### 集落の担い手と営農組織の 育成・強化による地域農業の発展

【勝浦市基盤整備実施 3 地区 (名木木戸、大森、大楠)、御宿町 基盤整備実施 1 地区 (御宿)】

勝浦市、御宿町の基盤整備実施地区は、工事の進捗状況に合わせて営農組織未設立の名木木戸、大楠地区の体制整備と合意形成を支援する。各地区で水田を活用した高収益作物の絞り込みと栽培技術向上、農地中間管理事業等活用による担い手への農地集積等を図り、地域にあった集落営農を推進する。また、既に設立された営農組合 (大森、御宿) の経営安定を支援する。



(名木木戸：面工実施中ほ場) (大森：トウモロコシ栽培ほ場)

### 集落における継続的な営農に向けた 多様な担い手の育成・確保

【集落営農推進地区 6 地区 (井沢営農組合、大野下地区、押日営農組合、桑田地区、松堀地区、(農)みねやの里、いすみ市基盤整備実施希望地区 1 地区 (荻原地区)】

いすみ市の基盤整備等実施 6 地区では、それぞれの発展段階に応じて、営農ビジョンの策定、組織の設立、営農品目の栽培技術向上、後継者の確保などの課題に取り組む。

また基盤整備事業を希望する 1 地区に対し、人・農地プランの実質化や営農ビジョンの作成支援を行い、合意形成を図る。



(井沢：高収益作物栽培講習会) (松堀：ソラマメ収穫体験)

### 地域内生産飼料の利用拡大と飼料供給拠点の 構築による酪農経営の安定

【酪農経営体 20 戸、乳肉複合経営体 1 戸、肉用牛経営体 6 戸、稲 WCS 収穫組織 2 組織】

夷隅地域の畜産は、農業産出額の約 6 割を占める重要な部門だが、輸入飼料の高騰により経営が逼迫している。経営の安定化のために自給飼料生産による飼料費の低減を図る。また、牛群検定加入農家や若手酪農家に対して経営改善指導を行う。



(WCS の収穫) (WCS を給餌している牧場)